

学 外 実 習 (Internship)		4 年・夏季・1 単位・選択 電気工学科・担当 小坂 洋明
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (4)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 D-2(80%), A-2(20%)	〔JABEE 基準〕 (d-2d), (i), (b)
〔講義の目的〕 企業などでの実習を通じて、技術者の心構えや社会人としてのあるべき姿を学び、また、これまでに学習してきた専門知識がどのように応用されているのかを知り、今後の学習に役立てるとともに、自主性、創造性、協調性を学ぶ。		
〔講義の概要〕 1. 実施時期：夏季休業期間中 2. 実施期間：5 日間以上にわたり、合計 30 時間以上従事 3. 実習の内容：設計、生産技術、生産管理、品質管理、実験および実験助手、機能・性能・材料試験、販売、サービスなどの分野 4. 学外実習先：学科が認めた実習先（民間企業、研究・試験機関、行政機関）		
〔履修上の留意点〕 実習先の就業規則（含、守秘義務）に従い、作業服等の確認を行なう。交通手段としては電車・バス・自転車を利用し、災害傷害保険に加入するとともに、実習に関する報酬は受け取らないこと。		
〔到達目標〕 企業等において直接的に学校で学んだ知識と技能を活用し、実際の生産活動を体験することで、将来必要とされる技術者の心構え、社会人として活躍できる足掛かりとなることを目標としている		
〔自己学習〕 到達目標を達成するため、実習前に実習先や実習内容について事前に自己学習すること。また、実習後の報告書作成・発表を充実させるため、積極的に準備のための自己学習をすること。		
〔評価方法〕 実習先での学外実習修了証明書および業務日誌（50%）、学外実習報告書（25%）、および学内での報告会での発表（25%）の 4 点によって評価する（4 点全て満たすことを合格の条件とする）。		
〔教科書〕〔補助教材・参考書〕 実習先での就業規則、指導書、マニュアル等。		
〔関連科目・学習指針〕 実習中に必要とした専門知識と、これまで学んできた知識との関連を把握する。また、積極的に生産現場において技術者と交流することにより、得られた知識を今後の学習に生かす。		

講義項目・内容

月	スケジュール	実 習 内 容	自己 評価*
5 月	ガイダンス	学外実習ガイダンス ・ 概要説明 ・ 実習先企業の紹介と実習内容の説明 ・ 希望調査と割り振り	
6 月	研 修 会	事前研修会 ・ 学外実習の心構えなどの学習 ・ 講演	
7 月～8 月	実 習	実 習 ・ 実習先でのオリエンテーション ・ 実習 ・ 業務日誌および報告書の作成	
9 月	ま と め	学外実習のまとめ ・ 学外実習の成果報告会。	

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)